

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 犬山市児童発達支援事業実施施設こすもす園

公表日 令和 8年 3月 30日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・利用が増える年明け以降は、人数や活動に応じて部屋を分けている。	・基準はクリアしているが、親子で利用するため利用が増える後半は狭く感じる日が出てきている。子どもや保護者が戸惑わずクラスを分ける方法を提示していく必要がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・親子5組に対し1人の保育士の配置基準以上に、保育士を配置している。 ・訓練実施日に訓練士への聞き取りに入ったり、研修で職員が不在になったりする日は体制が厳しくなることもあるが、朝礼時に役割を確認するなど、職員同士声を掛け合って連携を取るようになっている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・必要な時には段差に簡易的なスロープをはめるなどの用意をしている。 ・室内に階段があったり、フローリングであることなど怪我の可能性はどこにでもあるため、十分注意して療育を進めている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・療育終了後に清掃を行っている。 ・洗えない物はオゾン式保管庫で滅菌処理している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個別の支援、訓練、相談ができる部屋があり、必要に応じて使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・職員全員でよりよい療育を進めるために、日頃から話し合いを行い、PDCAサイクルを意識している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・本アンケートでいただいた意見を職員全員で共有し、改善できる方法を考えている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・朝礼などで職員の意見を聞く機会がある。 ・月に数回の職員会議の他、気づいたことを話し合う場をその都度設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・第三者による外部評価は義務ではないため行っていないが、苦情窓口を当園以外に設置し、本アンケート結果を公表し、改善に繋げている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・年二回の療育支援事業で職員の資質向上を図っている。 ・外部の研修に参加した職員が園内研修でリーダーとなり、他職員の学びの場となるよう開催している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・犬山市ホームページに載せている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・保護者と懇談を必ず行い、計画に反映している。 ・複数職員で支援方法を共有している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・必ず行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・個々の計画を複数職員で共有し、療育を行っている。 ・個別の支援内容が職員間で共有できるよう一覧表を作成し、朝礼などで確認している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・KIDSと独自のアセスメントシートを使用し、確認している。 ・訓練士等の専門家のアドバイスを支援に活かしている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・「家族計画」、「移行支援」のねらい及び支援内容について、計画書に反映している。	・「地域支援・地域連携」については、支援の手立てに記載するケースが多かったが、ねらい及び支援内容の記載を行っていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・常にチームで月案会を行い、クラス担任同士で話し合って決定している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・職員がそれぞれ研修等で学んだことをプログラムに入れている。 ・同じプログラムでも、子や人数に応じて対応している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎朝朝礼で必ず打ち合わせを行い、確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・療育終了後には必ず振り返りを行い、記録に残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・記入するポイントを職員同士で話し合い、統一した見方で評価するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・6ヶ月ごとにモニタリングを行い、アセスメントをして適切な支援計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・園長が必ず参画しているが、担任も条件が揃えば同席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・保健センターと連携し、子どもの成長を共有している。 ・公立園であるため、様々な機関とつながることができる。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・幼児は、市内子ども未来園との交流を定期的に行っており、親子で体験し職員も同伴している。次年度の就園に向けてスムーズに移行できるよう、申し送りを行っている。 ・就園後も保護者からの相談に乗ったり、就園先の保育士と連携を取ったりする体制を整えている。	・私立幼稚園、保育園との連携も強くなるよう、自園の研修参加を周知するだけでなく、日頃から連携を取り合えるとよい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・幼保小中で使用できる個別の教育支援計画書「あゆみ」を作成し、理解が深まるよう伝えている。 ・就学のための情報共有を積極的に行い、小学校教諭が見学をする機会も作っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	・年2回の療育支援事業研修会にはスーパーバイザーとして依頼し、助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・3歳児園交流、2歳児園交流、給食体験、リズム交流など、時期や年齢などに条件はあるが、毎年行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・親子通園施設のため、子の成長をその場で一緒に見ることができる利点を活かし、共通理解する機会を多く持っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・月1回講師を招いて、保護者向けの研修を毎月行っている他、OBから話を聞く機会も作っている。 ・ペアレントトレーニングは実施していないが、悩みや相談には随時対応し、専門機関にもつないでいる。		
保護者等への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に詳細に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・必ず確認している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・必ず説明を行い、同意を得ている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・都度、悩みや相談に応じている。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・2ヶ月に一度、保護者交流会を開催し、悩みや共通の話など横のつながりを持つきっかけを作っている。 ・きょうだい児が参加できる行事も計画している。	
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・契約時に周知し、必要な時は速やかに対応できるようにしている。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・「すぐーる」で毎月園だよりと療育予定表を配信し、他にも必要な時は随時発信している。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵付きの棚に保管し、必ず毎日施錠している。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・個々に合わせ、必要なツールを用意している。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・園庭を開放し、地域の方が利用できるようにしている。 ・不特定の方を招待する行事はないが、地域の方に依頼し、クリスマス会に参加してもらおうなどを行っている。	・開かれた事業として、「ふれあいデー」にお世話になっている地域の方を招待することを検討してもいいのではないかな。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・毎月避難訓練を行い、保護者にも説明している。 ・避難訓練の参加不参加の記録を残している。 ・各種マニュアルを策定し、必要な研修や訓練を行っている。	・避難訓練は月1回のため、不参加の利用者も出てくる。 ・園だよりなどに実施報告を記載するなど検討する。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・BCPを策定し、必要な訓練を行っている。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・契約時にアセスメントを行い、確認している。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・親子通園のため、医師の指示書提出は行っておらず、保護者の判断に一任している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を作成し、安全管理の基、支援を行っている。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・親子通園施設のため、常に連携が取れている。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・怪我や事故等が起こった時には職員で共有し、方策について検討している。 ・ヒヤリハットの箇所が分かるよう、図で掲示している。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・必要な研修を行っている。	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・計画には記載していないが、重要事項説明書の説明時に周知している。また、研修を行っている。 ・親子通園のため、身体的拘束を行う時は保護者と相談し、記録に残す。		